



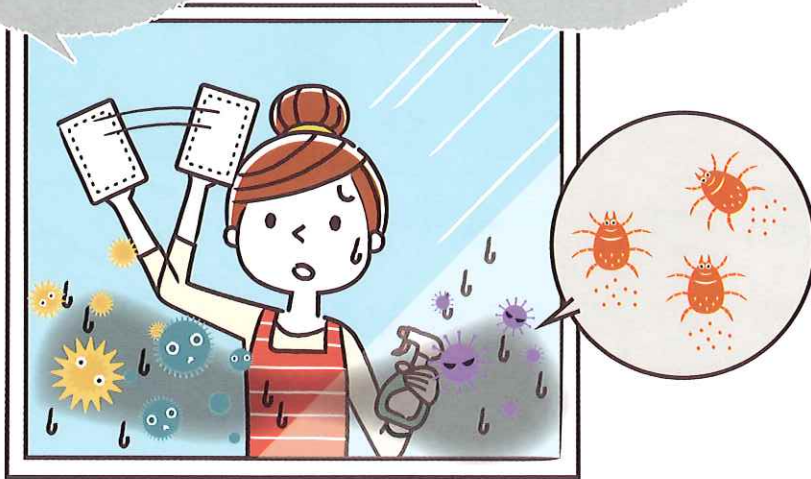
テーマ

カビやアレルギーの原因！

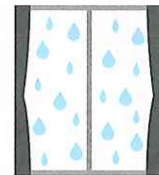
窓の結露を防ぐポイント

冬になると
窓が結露して
掃除も大変！

子どもの
アレルギーも
心配だわ



結露を放っておくと…



1. ビシビシの窓だと…



2. 湿気でカビが生える



3. 好物のカビをもとめてダニが集まってきて…

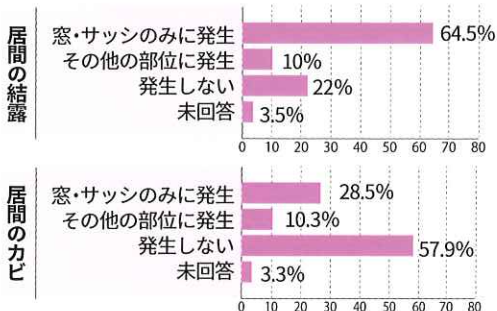


4. ダニの死骸やカビの胞子がアレルギーの一因に

寒い日に窓に結露が発生することはありませんか？結露をそのままにしておくと、この水滴により湿気を好むカビやダニの繁殖が促され、アトピー性皮膚炎や気管支喘息、鼻炎といったアレルギー疾患を引き起こしてしまうことも。とはいえ、毎日お掃除するのも大変ですね。お手入れの手間と嫌な結露を軽減するポイントをみていきましょう。

結露が一番多く発生する部位は、「窓」や「サッシ」。

居間の結露とカビの発生割合



左のグラフによると、窓・サッシで結露が多く発生しています。部屋の中は暖房で暖かくても、窓の断熱性が低い場合、外気によって冷やされた窓ガラスやサッシが、室内の空気と触れることで空気中の水分が水滴となる「結露」。室内で洗濯物を干す時や、加湿をし過ぎて空気中の水分量が多い場合、結露は発生しやすくなります。結露がカビの原因となるケースは、割合にしておよそ半数程度。カビやダニは健康リスクにつながるおそれがあるため注意が必要です。

出典：科学技術振興機構 2014年4月「住宅における結露・カビの発生要因に関する調査研究」P366 図1.居間の結露、カビの発生割合より作成 n=1,846(総回答数)
https://www.jstage.jst.go.jp/article/aije/79/698/79_365/_pdf/-char/en

おすすめ対策は裏面へ！